

西条（愛媛県）

## えひめ国体で「いもたき」提供 媛っこ地鶏など地元素材にこだわって

西条商工会議所女性会は10月2日、「第72回国民体育大会（愛媛）つなぐえひめ国体」（9月30日～10月10日開催）において、関係者に郷土料理「いもたき」を振る舞う「ふるまい」活動を実施した。当日は、メンバー13人が参加。サッカー競技会場となった西条運動公園とソフトボールが行われた東予運動公園の2カ所に分かれ、それぞれ300食分を調理して大会関係者らに振る舞った。



▲地域の味、温かな「いもたき」を提供

を鍋で煮込む愛媛の郷土料理で、秋に河川敷などで大鍋を囲み、皆で楽しむのが風物詩になっている。鍋の具は地域によりさまざま。同女性会では地産地消にこだわり、愛媛生まれのブランド鶏「媛っこ地鶏」やブランド里芋「伊予美人」など地域の食材をふんだんに使ったいもたきを提供した。

これに先立ち、メンバーらは9月に食育研修会を開催。いもたきの食材や味付けを相談しながら試作するとともに、媛っこ地鶏を使う簡単な料理も考案した。振る舞い当日は雨だったものの、メンバーの元気な声掛けに大勢の人がブースに立ち寄り、うどんの代わりに「すいとん」を加えた温かないいもたきに舌鼓を打った。

翌日は、別のメンバーが会場や駅で案内する「おもてなし」活動にも参加。女性会の伊藤宏子会長は、「えひめ国体への参加はとても貴重な体験。メンバー同士の交流も深まり楽しい時間だった」と話している。

岐阜（岐阜県）

## 鮎菓子とお茶の振る舞い実施 「信長公おもてなし茶会」大盛況

岐阜商工会議所などでつくる鮎菓子たべよー博実行委員会は10月1日、みんなの森ぎふメディアアコスモスで、「信長公おもてなし茶会 @鮎菓子たべよー博サテライト」を開催し、実行委員会の構成団体である同所女性会が、岐阜銘菓の鮎菓子とお茶の無料配布を実施した。

「鮎菓子たべよー博」では、参加企業が毎回趣向を凝らした鮎菓子を販売し、さまざまな新しい鮎菓子が誕生している。

同日イベントは、鮎菓子を広めることを目的に、同実行委員会が来年6月に開催する「鮎菓子たべよー博2018」をPRするプレイベント。今年が織田信長の岐阜入城450年に当たることを記念し官民で組織された「岐阜市信長公

当日無料配布した鮎菓子は、平成28年11月開催の「鮎菓子たべよー博2017」で実施した、「鮎菓子つくろーコンテスト」レシビの部で金賞を受賞した「五平焼き鮎」をベースにしたもの。女性会メンバーが、300個をお茶と一緒に振る舞った。



▲鮎菓子とお茶を振る舞う女性会メンバー



▲「鮎菓子たべよー博サテライト」会場